

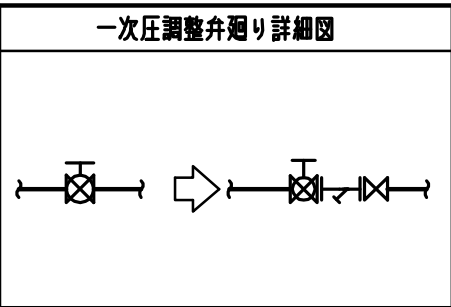
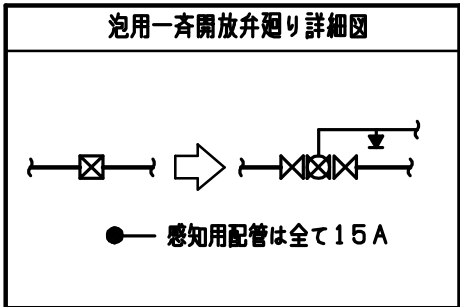
凡 例

記 号	名 称	記 事
■	屋内消火栓 (易操作性1号)	弁30A、ホース30A・30m、噴霧切替ノズル、総合盤組込型
■	屋内消火栓 (易操作性1号)	弁30A、ホース30A・30m、噴霧切替ノズル、総合盤組込型
■	専用栓	専用弁65A併設型
○	テ ス ト 弁	弁65A
□	送 水 口	双口埋込型
□	採 水 口	埋込型
◎	泡 ヘ ッ ド	0.25MPa 35L/min
●	感 知 ヘ ッ ド	スプリンクラーヘッド 72℃ (下向型)
↓	手 動 起 動 弁	15A カバー付 (泡消火用)
⊗	一 斉 開 放 弁	50A、65A (減圧開)
⊗	泡 混 合 器	80A (100~1200L/min)
⊗	流 水 検 知 装 置	100A (泡消火用)
×	仕 切 弁	
⌵	逆 止 弁	
□	フ レ キ シ ブ ル	SUS製
⊗	免 震 フ レ キ シ ブ ル	SUS製 免震量600mm Hシステム コントロールサスペンション含む
⊗	免 震 フ レ キ シ ブ ル	SUS製 免震量600mm Vシステム (20A, 50A, 65A, 100A)
⊗	ボ ー ル タ ッ プ	
⌵	電 源 接 続	2P
⊗	流 量 計	
⊗	圧 カ ス イ ッ チ	
⊗	フ ォ ー ト 弁	
⊗	吸 水 ス ト レ ー ナ ー	
⊗	圧 力 計	
⊗	連 成 計	
⊗	ス ト レ ー ナ ー	Y型
⊗	一 次 圧 調 整 弁	40A
⊗	ボ ン プ 制 御 盤	
—X—	配 管	屋内消火栓管 JIS-G-3452
—F—	配 管	泡消火管 JIS-G-3452
—D—	配 管	排水管 JIS-G-3452
—H—	配 管	連結送水管 JIS-G-3454 (sch40)
—W—	配 管	消防用水管 JIS-G-3452
---	電 路	

記 号	名 称	機 器 仕 様
FP 1	屋内消火栓ポンプユニット	φ 65× 300L/min× 94m× 15kW 200V60Hz 呼水量 50L・盤付 スター・デルタ盤付
FP 2	泡消火ポンプユニット	φ125× 980L/min× 67m× 30kW 200V60Hz 呼水量 50L・圧力タンク 50L・盤付 スター・デルタ盤付
ET 1	消火用補給水槽	0.2m³ (有効水量) SUS製 耐震1.5 平架台付 (500×1000×1000H)
PT 1	泡薬剤タンク	400L型

移報内訳表 (至る防災監視盤)

表示 設備名	メイン ポンプ			呼水槽		水源地槽		アラーム 弁	合計
	運転	故障	電源断	満水	減水	満水	減水	区画	
屋内消火栓設備	1	1	1	0	1	0	1	0	5
泡消火設備	1	1	1	0	1	0	1	1	6



以降電気工事
① 至る 防災監視盤
② 至る 非常電源 (接地線引込工事を含む)

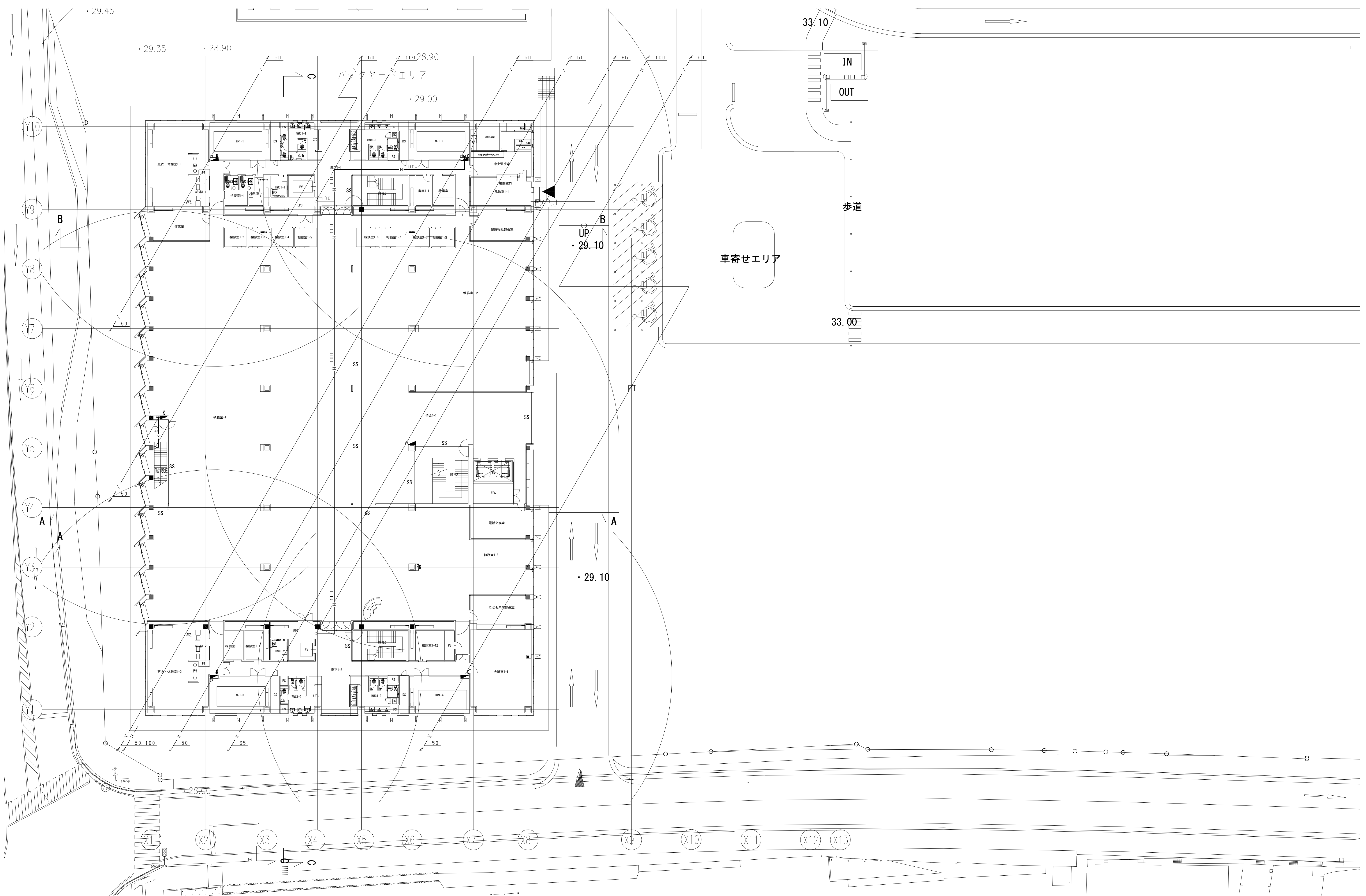
1. 泡消火薬剤名称 水成膜泡消火剤 3%型
2. 配管内容積 3096 L
3. 泡消火薬剤量 3096 L×0.03+35 L/min×28管×10 min×0.03 =386.9 L
4. 泡消火薬剤タンク 400 L型

特 記

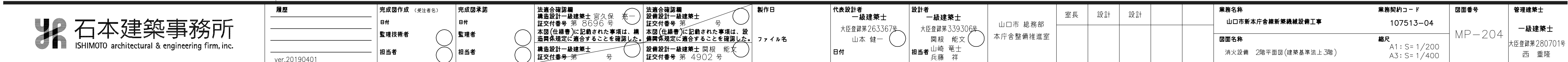
- ◇ 消火用ポンプ、タンク、水槽類の基礎は、建築工事とする。
- ◇ 屋外露出配管は、保温ラッキングとする。
- ◇ B1Fから 5Fまでの消火栓は、自動調整弁付とする。
- ◇ 消火栓類上部の総合盤スペースの仕様については、別途確認すること。
- ◇ 泡消火薬剤を含む排水は、消火水源水槽に戻さないこととする。
- ◇ 本設備は総合操作盤対応とする。

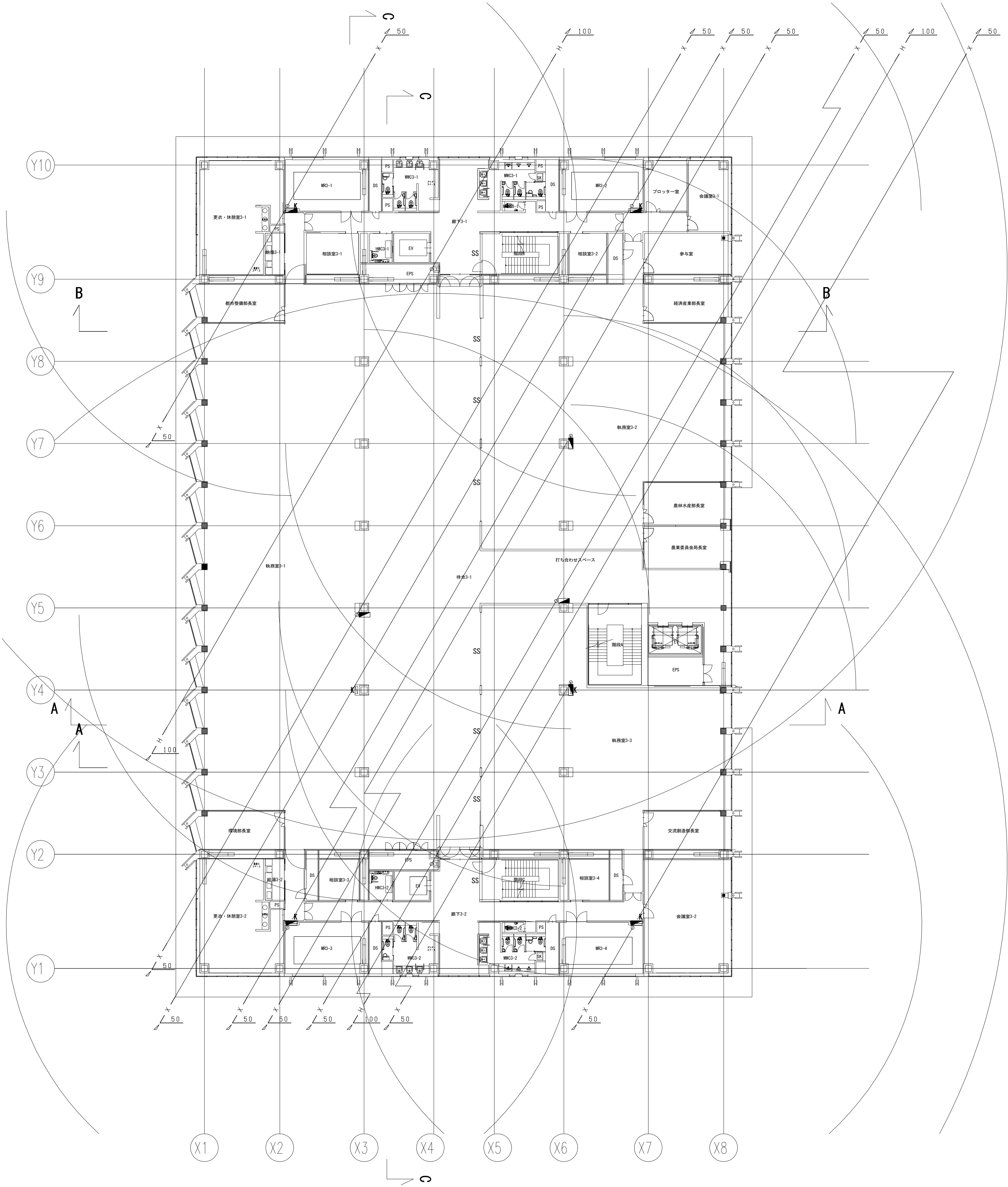


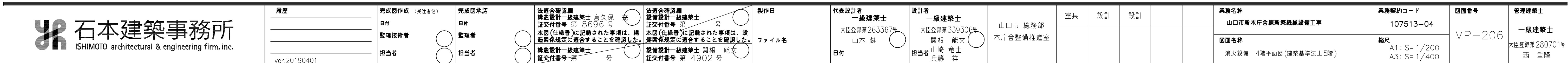


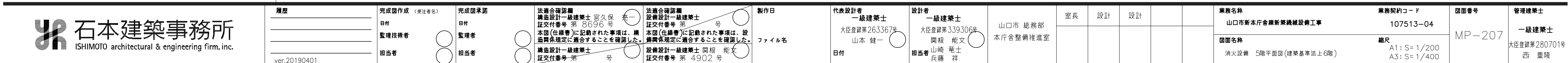


履歴	完成図作成 (製作者名)	完成図承認	法適合確認 構造設計一級建築士 宮久保 一 証交付番号 第 8696 号 本図 (仕録等) に記載された事項は、構 造関係規定に適合することを確認した。 構造設計一級建築士 関根 能文 証交付番号 第 4902 号	製作日	代表設計者 一級建築士 大臣登録第 263367 号 山本 健一 日付	設計者 一級建築士 大臣登録第 339306 号 関根 能文 担当者 山崎 竜士 兵藤 祥	山口市 総務部 本庁舎整備推進室	室長	設計	設計	業務名称 山口市新本庁舎新築機械設備工事	業務契約コード 107513-04	図面番号 MP-203	管理建築士 一級建築士 大臣登録第 280701 号 西 重隆
監理技術者	監理者	監理者	監理者	ファイル名							図面名称 消火設備 1階平面図 (建築基準法上 2階)	縮尺 A1: S= 1/200 A3: S= 1/400		
担当者	担当者	担当者	担当者											





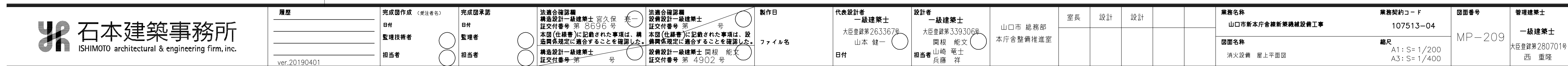


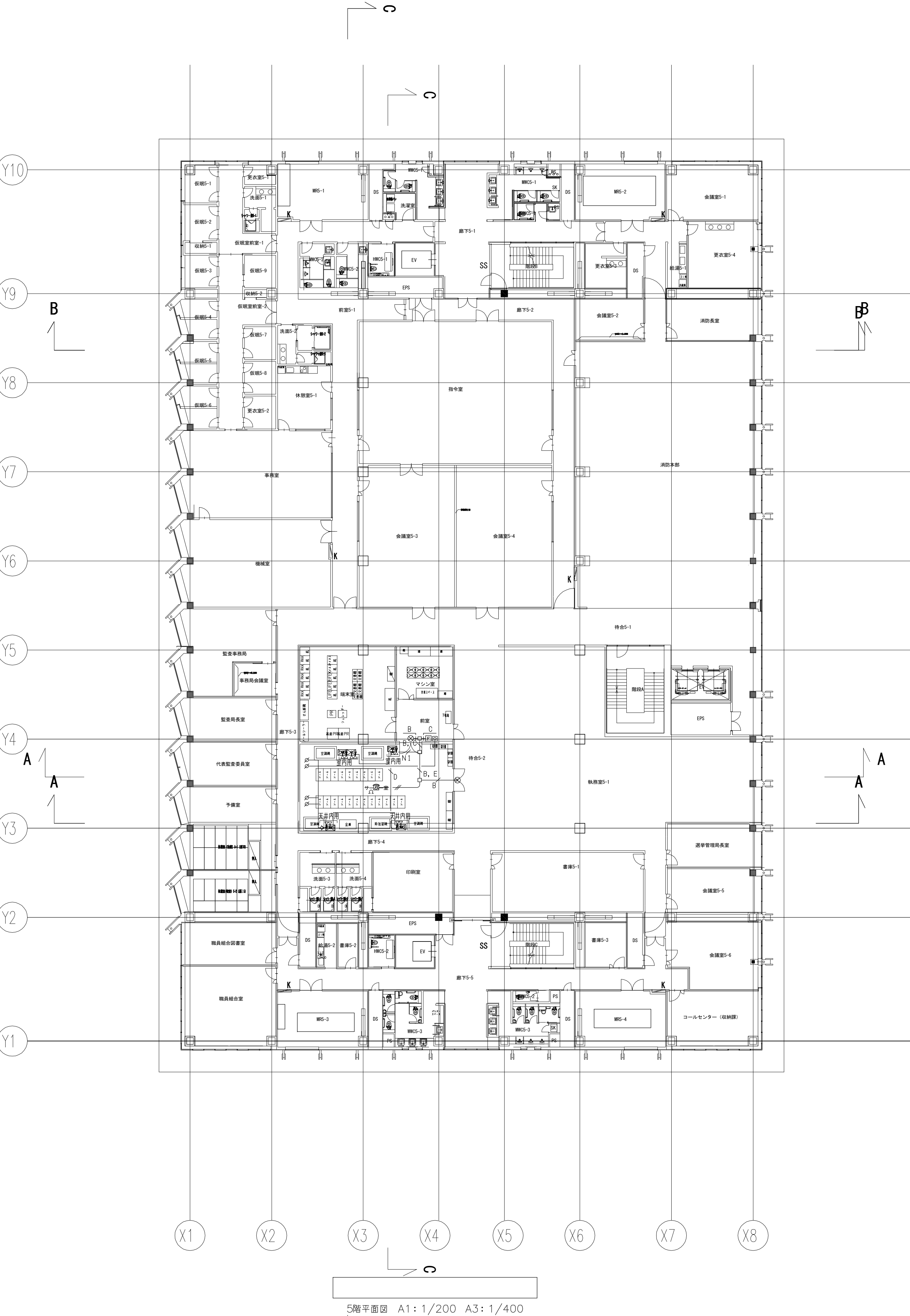




[illegible]







5階平面図 A1: 1/200 A3: 1/400

凡 例

記号	名 称	記 事
	ユニット型窒素消火設備	83L/20.3m³入 2本×1台 制御ユニット 音声警報組込、自手動切換付、蓄電池設備内蔵型 (DC24V 3.5AH) 噴射ヘッド付
	ユニット型窒素消火設備	83L/20.3m³入 2本×4台 連動ユニット 噴射ヘッド付 (Ⓢ: ソレノイド付)
	噴 射 ヘ ッ ド	F G A 20型
	放 出 表 示 灯	DC24V 1.44W 点滅式
	操 作 箱	カウントダウン機能組込、電話ジャック付
	ピストンレリーザー	ダンパー閉鎖用 遠隔復帰型 (空調工事)
	復 旧 弁	B O X付
	逆 止 弁	
	光電式スポット型感知器	2種 埋込型
	終 端 抵 抗	10KΩ
	配 管	窒素消火管 JIS-G-3454 (sch40)
	導 管	銅管 Φ6×Φ4 JIS-H-3300
	電 路	
	ブ ル ボ ッ ク ス	

区 画 名 称	面 積 (m²)	高 さ (m)	容 積 (m³)	容積係数	ガ ス 量 (m³)	ポンペ本数	濃 度 (%)	許容区画内圧力 (仮定) (Pa)	ダクトの 長さ(m)	ダクトの 損失(Pa)	(参考)
5F サーバ室 (天井内)	90.5	1.5	135.7	0.516	70.1						
合 計	90.5	2.7	244.4	0.516	126.2						
			380.1	0.516	196.2	83L/20.3m³×10本	41.4	1000	30	558.99	

移報内訳表 (制御盤→防災監視盤)

設備名	表示					合計
	警報	起動	放出	電路異常	自動手動中	
窒素消火	1	1	1	1	0	5

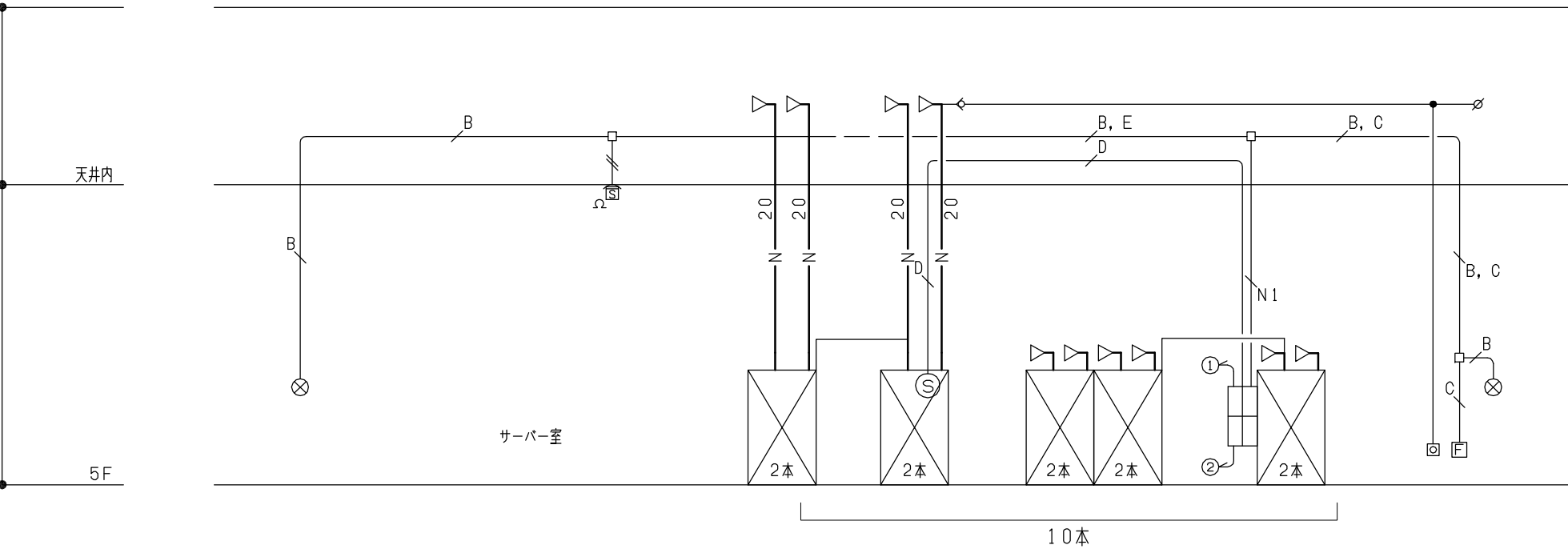
\* 警報信号は感知器の作動又は操作箱の扉を開いた場合に出力する。

記号	配 線 仕 様	電線管使用時
B	HP1.6-2C	E19
C	HP1.2-2C HP1.2-5P	E31
D	HP1.2-5P	E25
E	HP0.9-2C	E19
N1	HP0.9-2C HP1.6-2C HP1.2-2C HP1.2-5P	E19 E19 E19 E31

特 記

- ◇ ガス消火設備の自動起動は、消火設備専用の感知器と自火報設備の感知器の火災信号によるAND回路制御方式とする。
- ◇ 避圧口は空調工事とする。
- ◇ 排出装置は、空調工事とする。
- ◇ 電線管使用時は、ネジナシ電線管 (薄鋼) とする。
- ◇ 放出された消火剤等を排出する機械排気機器は非常電源を必要とする。

避 圧 口 計 算
$A = 134 \times H \times 1 \times 1.5 \sqrt{P - \Delta P} - PU$
A: 避圧口必要面積 (cm²)
H: 容器1本あたりの充てん量 (m³) = 20.3 (m³)
I: 放出容器本数 (本)
P: 許容区画内圧力 (Pa)
ΔP: 避圧ダクト損失 (Pa)
PU: 外気風圧 (Pa)
○ 許容区画内圧力、避圧ダクトの詳細仕様が決定した際には、再度、避圧口面積を計算すること。
○ 外気風圧: 202.7 Pa (山口県山口市の過去10年間 [2010年~2020年] の最大風速18.3m/s)



系統図 A1: N.S. A3: N.S.